

4年間の流れ 2025年度(予定) 変更になる場合があります

卒業に必要な単位:124単位

専門教育科目:78単位
 全学共通科目:28単位
 広域選択:18単位
 選択必修:10単位
 選択:68単位

成長のプロセス	1年次	2年次	3年次	4年次
	一般教養科目や基礎的な経済学・経営学を学びつつ、大学で学ぶさまざまな知識を体系的に修得できるような大学での学び方を身につける。	経済学・経営学の基礎科目に加え周辺領域の科目や演習科目の履修を通じて専門性を高め、一層の知識の深化を図る。	演習や専門科目の履修を通じて専門的知識の修得に努めるとともに、産学連携プロジェクトを通じて実践的に学び、アントレプレナーシップ(起業活動)の能力を身につける。	卒業論文の作成を通じて4年間の学修成果を体系的にまとめ、社会から求められる人材としての専門性を確立する。
選択必修		<ul style="list-style-type: none"> ゲーム理論a/b 現代企業論a/b 	<ul style="list-style-type: none"> 地域経済論a/b アントレプレナーシップ論 事業創造論 	
選択	<ul style="list-style-type: none"> 経済学入門a/b 情報入門I-II キャリア・デザインa/b 	<ul style="list-style-type: none"> 演習I 会計プロフェッショナルクラスI(会計士/税理士) 	<ul style="list-style-type: none"> 演習II ビジネス・インターンシップa/b 会計プロフェッショナルクラスII(会計士/税理士) 憲法a/b 経済法a/b 民法一部a/b 民法二部a/b 商法一部a/b 経済学科の専門教育科目(P43)※一部2年次より履修可能な科目があります。 商学科の専門教育科目(P45)※一部2年次より履修可能な科目があります。 情報経済システム論a/b 	<ul style="list-style-type: none"> 演習III 卒業研究 会計プロフェッショナルクラスIII(会計士/税理士) 商法二部a/b 労働法 行政法a/b 国際法a/b ビジネス英会話a/b
	<ul style="list-style-type: none"> 社会経済学a/b 	<ul style="list-style-type: none"> 企業経済学a/b 	<ul style="list-style-type: none"> 企業経営学a/b 	
	<ul style="list-style-type: none"> 公共経済学a/b 現代産業論a/b 産業組織論a/b 企業管理論a/b 非営利組織論a/b キャリア・デザイン応用a/b 契約理論 情報の経済学 	<ul style="list-style-type: none"> 法と経済学 制度の経済学 ファイナンス論a/b 企業戦略論a/b グローバル・ビジネス論a/b 企業統治論a/b 企業と社会a/b 人的資源管理論a/b 	<ul style="list-style-type: none"> ビジネスの歴史a/b ネットワーク組織論a/b 市民と経済学 社会思想史 ボランティア経済a/b 中小企業論 中小企業政策論 観光論 	<ul style="list-style-type: none"> 医療福祉経済論 コミュニティ・ビジネス論 協同組合論 経営学史a/b ビジネス事例研究 アントレプレナーシップ養成講座 外国書講読I-II(a/b) IT研究I-V
	<ul style="list-style-type: none"> 経済理論Aa/b 	<ul style="list-style-type: none"> ミクロ経済学a/b 	<ul style="list-style-type: none"> 現代経済事情I-II 	<ul style="list-style-type: none"> 現代産業事情I-III 特殊講義I-II

卒業論文テーマ・研究課題例

- 日本企業におけるキャッシュレス化の現状と将来展望
- 脱炭素社会に向けた自動車メーカーのSDGs経営
- 脱・孤育てに向けたまちづくり
- 駒澤大学生のコロナ下の不安・自粛政策の評価・将来ビジョン
- サッカーにおけるペナルティキックのゲーム理論的分析
- ファストファッションにおける競争戦略の潮流と将来展望
- 新潟県燕市の地場産業の現状と課題

Topics

駒澤大学地域協働研究拠点「ラボラトリ」



現代応用経済学科では世田谷6大学をはじめ、地域住民、行政、周辺企業、商店街などの協働研究の場となる「ラボラトリ」を2018年4月に創設しました。世田谷地域の多様な人々を巻き込みながら、座学と実践の両面から学べる場として、地域全体で起業活動を促進し、新規事業の創出を目指しています。

私の

1 Week Schedule [2年次]

	Mon.	Tue.	Wed.	Thu.	Fri.	Sat.
前期	1		非営利組織論a	地域経済論a	アントレプレナーシップ論	
	2		現代経済事情I	ファイナンス基礎a		
	3	英語IIAa	共同組合論	簿記論a	演習I	
	4	産業組織論a	宗教の見方(1)		英語IIBa	
	5				グローバル・ビジネス論a	
	6					
後期	1		非営利組織論b			
	2		汚染問題を考える			
	3	英語IIAb	コミュニティ・ビジネス論	簿記論b	演習II	
	4	産業組織論b	キャリア・デザイン応用b	ビジネス事例研究	英語IIAb	
	5				グローバル・ビジネス論b	
	6					

履修のポイント

「非営利組織論」の授業では、先生による講義とゲスト講演を交互に行い、非営利組織の経営学について理解を深めます。これによりNPOとは何かを事例を交えて学びながら、体系的に習得した専門分野の知識・技能・技術を実際に直面する状況・課題に対して臨機応変に活用する能力を身につけられます。

学びから得たこと

講義で得た知識をもとにレポート課題を通して自分の言葉で考えをまとめ、自分の意見をわかりやすく表現するスキルが向上しました。また、一部の講義で実施されるワークショップやグループディスカッションを通して、積極的に学ぶ姿勢が身につく、相手の状況や考えを考慮して話すスキルも向上しました。

Message

持続可能な経済発展に貢献したい。

商業高校で学んだマーケティングや会計に関する知識を深め、実践的なスキルを身につけたいと考えました。現代応用経済学科は、最先端の経済学・経営学やトレンドの創造に焦点を当てているのが特徴で、現代のビジネス社会において求められるスキルを身につける上で魅力的でした。私にとって本学科は、商業に関する高度な知識を学び、今後のキャリアに役立てるための適切な場所だと感じています。マーケットや経済の動向を理解し、ビジネスの中での意思決定において経済の知識を活かすことに役立つと考え、現在は資格試験の取得に取り組んでいます。将来は、金融分野に就職して、マクロ的な視点から、持続可能な経済発展に貢献していきたいと思っています。

杉本 晃晴さん

現代応用経済学科 2年
岡山県立倉敷商業高等学校 出身

